

S-Cube だより

人生が輝きだす起業家応援マガジン

2018年10月

特別号

vol. 13



S-Cube とは
さかい新事業創造センター

起業家や新分野進出をめざす中小企業を支援するための起業家支援施設です。施設内の各居室(創業準備デスク・オフィス・研究開発用ラボ)では、経営支援の専門家(インキュベーション・マネージャー)による支援のもと、数多くの起業家やベンチャー企業が事業活動を行っています。

創業支援メニュー紹介

～S-Cubeでは、こんな事業を実施しています！(平成30年度実施事業)～

事業を始めるにあたり、基礎的なことを学びたい方へ

■「起業家育成キャンパス」

対象となる方	堺市内在住・在勤・在学でこれから起業しようと考えている方および堺市内で起業予定の方
支援内容	インキュベーション・マネージャーが、定期的にマンツーマンで事業計画のブラッシュアップや課題に対する相談・解決を行い、事業を立ち上げるまで支援し、その他、必要に応じ、S-Cubeが持つネットワークを活用して各方面の経営支援の専門家を紹介するなど、起業に向けた活動を幅広くサポートしています。



■「女性起業家メンターミーティング」

対象となる方	これから起業しようと考えている方(女性)
支援内容	事業経験豊かな先輩女性起業家(メンター)と起業支援の専門家(コーディネーター)が、起業に関する悩みなどの相談をお受けし、相談者(メンティー)の起業を強力にサポートします。



※女性起業家支援ロゴマーク



■「若者向け起業ワークショップ」

対象となる方	30歳未満の事業アイデアをもつ若者(学生含む)
支援内容	起業に必要な基礎知識や起業マインドの育成などを学ぶとともに、事業アイデアのブラッシュアップをするワークショップと若手起業家の体験談を交えた交流会を行う。

問合せ先

さかい新事業創造センター[S-Cube] TEL 072-240-3775 FAX 072-240-3662

入居者随時募集中

空室状況についてはお問い合わせください

知的創造の場にふさわしい快適な事業空間 (公財)堺市産業振興センター・堺商工会議所・大阪府立大学などと協力して企業間連携や産学連携を力強くサポート

(無料 経営サポート) (最大50%の 公的賃料補助) (充実の 設備・環境) (24時間 利用可能) (駐車場は 月額8,000円～)

創業準備デスク

8ブース

月額賃貸料(共益費含む) 12,000円
※消費税除く

創業をめざす方に

オフィス

47室

月額賃貸料(共益費含む) 45,000円～
※消費税除く

創業間もない方や
新分野に挑戦する中小企業に

ラボ

8室

月額賃貸料(共益費含む) 78,000円～
※消費税除く

研究開発型の
起業家や中小企業に

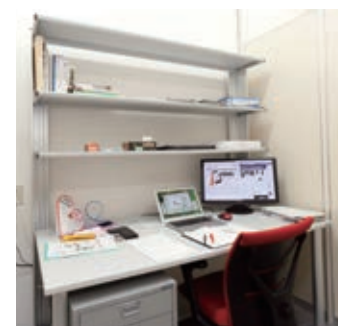
マルチラボ

(オフィス付きラボ)

4室

月額賃貸料(共益費含む) 216,000円～
※消費税除く

研究開発型の
中小企業に



自宅以外の活動場所に最適なシェアードオフィスもあります。

[発行・問合せ]

株式会社さかい新事業創造センター

〒591-8025 堺市北区長曽根町130番地42 TEL:072-240-3775 FAX:072-240-3662 E-mail:info@s-cube.biz URL:http://www.s-cube.biz
●S-Cubeだより特別号vol.13(2018年10月発行) ●Aランクの資材のみ使用。印刷用の紙にリサイクルできます。 ●共同企画・制作 株式会社 カガワデザイン

障がいを抱えた方たちの 一般就労をめざして

森下修二社長(右)と、北野田ショップの事業責任者の平岡安光店長(中)、
なかもずラボ事業所の事業責任者の内田善業開発営業部長(左)



2015年創業

03

年目



シンスリー株式会社

代表取締役
森下 修二 さん

企業FILE

□事業内容

障がい福祉サービス業

□S-Cube入居年度

2015年7月(33.3㎡オフィス)
2017年8月(80.0㎡マルチラボ)

□会社概要

堺市北区長曽根町130番地42 さかい新事業創造センター319号
TEL.072-257-1114 URL: www.shin-3.com/

「事業内容について」

就労継続支援A型事業所として
就労の基礎を学ぶ訓練を実施

障害者総合支援法における「就労継続支援A型」支援施設として、一般企業での就労は難しくても、雇用契約に基づく就労が可能な障がい者の、段階的就労支援を行っています。それぞれの障がいの特性に応じて、活躍できる職場、職種を作ろうと、事業所は3つ。大阪の名産品や授産施設で製作された商品を販売する「北野田ショップ シンスリープラス」と、部品のバリ取りや目視検査など製造業の一端を担っている「なかもずラボ事業所」、そして最も一般就労に近い環境で食品加工を行っている「百舌鳥梅町加工場」があります。

最終的な目標は、一般の事業所での就労にあり、愛情に裏打ちされた厳しさで「時間を守ること」「挨拶をすること」「人との和を育てること」を求めています。当初、その厳しさが親御さんに理解されないこともありましたが、今ではとても喜ばれています。これまでに5人の方が一般企業へ就職しました。ただ、課題は定着させることです。私たちは、それぞれの障がいによってできないことを見極め、「合理的な配慮」を行っています。社会にもそれが必要だと思っています。

「起業のきっかけ」

福祉の世界にビジネスの概念
社会に貢献できる喜びを

別の事業を運営するなかで、ある福祉関係の団体と関わりを持ったことがありました。授産施設などで、障がいを持った方に「できること

ぶっちゃけます!」

起業家Q & A

Q ずばり「お金のこと」

A 金融機関から借り入れず、自己資金のみで創業しました。営利目的の法人ではありませんが、製品の品質確保を徹底することで、お客様の安心感・信頼感を獲得し、損益分岐点を超える利益も上げています。創業後の運転資金もそこからまかなえています。

Q だいたい「人脈のこと」

A 人脈づくりを意識したことはありません。ただ、当社の事業を理解し支援してくれる得意先企業や協力会社、地元の方々など、関わる人たちを大切にしてきたことが、今の結果につながっていると思っています。

Q 気になる「もう一つの夢」

A 障がいや難病を抱えていても、本人の意欲があれば、できないところを補助する仕組みや用具を用意するなど「合理的な配慮」を行うことで、安定した雇用が実現すると信じています。つながり合う社会の創造が私たちの理念です。

3つの事業部の紹介

北野田ショップ シンスリープラス

堺市東区北野田1084-127 TEL.072-284-8380



大阪名産や授産施設で製作された商品を販売するショップとして2017年9月にオープン。地域の方々とのコミュニケーションを積極的に図り、周囲に支援の輪が広がっています。開設1周年を機に店内に交流できるスペースも設けました。

なかもずラボ事業所

堺市北区長曽根町130-42 124号 TEL.072-257-1114



工場製品の部品のバリ取りや目視検査などを担っています。障がい者のための機械や用具の開発を進めています。

百舌鳥梅町加工場

堺市北区百舌鳥梅町3-47-5 TEL.072-257-1114



施設外就労先として、いなり寿司の加工を行っています。一般企業に最も近い就労環境を提供しており、食品工場で働くための専門知識やスキルの向上を図っています。製品は抜き取りではなく、全数検査を実施。信頼と安心を獲得しています。

まででいい」と接していることに違和感を持ち、福祉の世界にもビジネスの概念が活かせるのではないかと考えたのが創業のきっかけです。そこで着目したのが、「就労継続支援A型」でした。授産的な活動を行って工賃が支払われる「就労継続支援B型」と異なり、雇用契約をきちんと結んで、最低賃金以上の給与を支払う就労継続支援A型施設なら、私を含め、各事業所の所長が長年に培った民間企業での経営ノウハウを

活かせると思ったのです。例えば、やる気のなか出ないスタッフに対し、いかにやる気を引き出すか、そして、そのやる気をどう持続させるかといったところは、新人教育のノウハウが活かれますし、なかもずラボ事業所で行っている、毎日の目標数値をホワイトボードに大きく掲げる「目標の見える化」もやる気の向上に効果を上げています。

「S-Cubeに入居して」

セミナーなどの情報提供のほか
創業者への支援体制が充実

創業と同時に運営本部としてオフィスに入居し、昨年の8月には「なかもずラボ事業所」を開設するにあたってマルチラボに入居しました。

S-Cubeは、創業者への支援体制がしっかりしており、例えばセミナーの案内など、旬の情報をいち早く提供いただけるのを、とてもありがたく思っています。

S-Cube奥田インキュベーション マネージャーからのコメント



森下社長は、まさに後者。新しいことへのチャレンジ精神は強く、常に1歩先を行く姿はまわりに刺激を与えます。

起業は業界に精通していることばかりが成功するとは限りません。逆に異分野だからこそ成功している人が増えているように感じます。

得意の「売れる」SEOのノウハウを活かして

多彩なオウンドメディアで 広告主とユーザーの橋渡し

入居企業紹介

2013年創業

05
年目



株式会社
COGウェブサービス

代表取締役
塩路 高浩 さん



企業FILE

■事業内容
メディア制作事業、SEOコンサルティング事業、テンプレート販売事業

■S-Cube入居年度
2014年5月(33.3㎡オフィス)

■会社概要
堺市北区長曾根町130番地42 さかい新事業創造センター322号
TEL.072-256-4841 URL: <https://cog-web.com/>

「起業のきっかけ」

月間2万PVの個人ブログに 広告主がついたことで決意

起業のきっかけは、会社勤めをしていた頃から管理運営していたホームページやブログです。もともとは趣味の英会話について体験記事を書いていたのが、やがて勉強方法やスクール選びなどの情報も掲載するようになると、アクセス数がぐんぐんと伸びて、1か月の訪問者数が2万ユーザーを超えるまでになりました。

当時の簡単なものでしたが、独学でSEOを施すと、「オンライン 英会話」の検索で1位になったこともありです。英会話スクールの広告主までがつくようになり、「これは面白いな。ビジネスになるな」と思ったのです。

「S-Cubeに入居して」

施設の利便性はもとより 対外的な信用の獲得にも

パソコン1台で始められる事業でしたので、最初は自宅で起業しましたが、人を雇用したいと考えたのをきっかけに、起業1年後にS-Cubeに入居しました。郵便物などが自宅に配達されることも、あまり好ましいことではないと考えていましたから。

実際に入居して、その利便性と快適さにとっても満足しています。オフィスに面接スペースを設けずとも、来訪者との打ち合わせには、施設内の商談室や会議室を利用することもできますし、何より堺市の外郭団体であるS-Cubeに入居していることが、対外的な信用の獲得につながっています。



台湾の若い女性向けに開設された通販サイト「jasmetic」。人気の高い日本製の美容・健康関連商品を扱っている。

「事業のこれから」

海外向けオウンドメディアで 台湾を中心としたアジアへ進出

今後、力を入れていきたいと考えているのは、海外向けオウンドメディアです。日本とは異なる国民性や生活習慣をしつかり理解するのはもちろん、その国の通販事情や決済方法、流通などもよく調べて対応しなければならぬ苦労もありますが、新たな市場として魅力を感じています。既存のサイトとの差別化として、商品の写真だけでなく、具体的な使用シーンをイメージできるよう、モデルを起用したオリジナルの画像を掲載するなどの工夫を行っています。今後は、すでに開設している台湾を中心に、ベトナムやインドネシアなど東南アジア各国でもオウンドメディアを開発していきたいですね。

また、新たにスタートしたテンプレート販売事業においても、使いやすい製品の開発を進めていく予定です。

S-Cube山本インキュベーション マネージャーからのコメント



「塩路社長は、入居企業のなかでもおとなしい方なのですが、その経営スタイルは、まさに「風林火山」のごとく進められています。「風」のようにさっと行動に移し、「林」のようにいつも冷静で、「山」のように「今何をすべきか」を考え、かと思えば事業(テンプレート事業等)の着手は「火」のように早い。このことが大きく事業を伸ばしている要因だと思います。

これから起業する方への メッセージ

まず、「好きなこと」ではなく、「得意なこと」で起業すべきだと思います。自分のどのようなスキルに市場価値があるのか、そこを考えないと事業は持続しません。そして、私自身の経験として、人を雇用したほうがよいと思います。企業の発展スピードが全く違いますし、経営者としての成長にもつながると思います。

[COGウェブサービス]NEWS

今年7月に、海外向けオウンドメディアの第1号として、台湾の若い女性向けに健康や美容をテーマとしたサイトを開設しました。台湾ではクレジットカードを持つ人が少なく、多くはコンビニ決済を利用していますが、そうした現地の事情もしっかり理解したうえでメディアを制作しました。親日的であり、日本の製品への関心が高い台湾は、大きな市場として注目されています。

「事業内容について」

自社運営のオウンドメディアが 主力事業に成長

大きくメディア制作事業、SEO(検索エンジン対策)のコンサルティング事業、テンプレートの販売事業を行っていますが、なかでも創業時から得意としてきたSEOについては、ただホームページが表示される順位を上げるだけでなく、「売れる」「成約がとれる」SEOを強みとし、中小企業や個人事業者の集客のお手伝いをしてきました。

そこで蓄積したノウハウを活かして、最近注力しているのが、自社独自に管理・運営を行うオウンドメディアです。例えば、その一つ「家売るなら、iD」では、S-Cubeの不動産鑑定士の資格を持つ入居企業さんの監修のもと、不動産を売却する時の不動産会社の選び方や、失敗しない売却方法などの情報を提供しています。アクセス数が増え、検索エンジンで上位に上がるメディアほど、多くの広告主がつくわけですから、いかに魅力あるメディアを制作するかが重要です。当社では不動産のほか、金融、美容、健康など多岐にわたるジャンルで10以上のメディアを運営しています。



ぶっちゃけます!:

起業家Q & A

A ずばり「お金のこと」

自宅でパソコンだけのスタートだったので、自己資金だけで起業しました。しかし、将来的に会社を大きくするための融資を受けることもあるだろうと、以前から個人的な口座を持っていた地元の信用金庫をメインバンクに融資実績を作りました。当社の規模だとメガバンクよりも相談しやすいという判断もありました。

A だいたい「人脈のこと」

ある異業種交流会で偶然に再会した中学時代の同級生が、同じ規模の会社経営者であったことから、今では経営上の悩みも相談するようになりました。心強い存在です。

A 気になる「企業としての理念」

こうした一事業界では、一度も顔を合わせることもなく仕事を進めることも珍しくありませんが、私は必ず担当者に直接会う機会を作ります。それが信頼感の醸成につながっているという実感があります。

インターネットが苦手な顧客に寄り添って

丁寧なヒアリングから始まる コーポレートPRのお手伝い

卒業企業紹介

2012年創業

06

年目



goodcircle
グッドサークル

代表
宮本 貴世 さん

「事業内容について」

中小企業や個人事業者の
ホームページなどPR媒体を制作

主に中小企業や個人事業者の方を対象に、WEB制作やグラフィックデザインなどを行っています。グッドサークルの強みといえるのは、お客様のニーズや課題を丁寧に、かつ徹底的にヒアリングすることです。インターネットやパソコンに詳しくないお客様の中には、WEB制作会社の言っていることが専門用語ばかりでよく理解できず、言われるままに作ってしまった結果、使い勝手が悪かったり、活用しきれなかったりという話をよく聞きます。グッドサークルでは、そのようなことがないよう、インターネットに詳しくないお客様にこそしっかりと、WEB制作を通じて消費者との橋渡しをしたいと考えています。

もともと美術系の学校に通っていて、絵を描くこともでき、S-Cubeの経営者仲間からアドバイスされて、イラスト制作やアイコン制作へもサービスメニューを広げていたこともあります。創業間もない時は、メニューを絞り込まないのがいいたくなく考えています。



親しみやすく美しくデザインされた会社案内や実績集など、自社PRツールの整備にも抜かりはありません。

企業FILE

□事業内容
ホームページ制作、グラフィックデザイン制作、その他デザイン全般

□S-Cube入居年度
2012年9月(創業準備デスク)～
2013年11月(15.0㎡オフィス)～2018年7月

□会社概要
堺市北区長曾根町130番地42 さかい新事業創造センター S-1号
TEL. 072-247-9881 URL : <https://www.goodcircle.jp/>

「起業のきっかけ」

3歳の頃から決めていた起業 家庭と両立できるデザインの道へ

祖父母が商売していたのを身近に見て育ったこともあり、物心ついた頃から将来は自分で商売すると決めていました。美術系の学校に進みましたが、故郷の徳島ではデザインなどができる就職先があまりなく、通信関連の企業に入社。インターネット回線のサポートなどを行うなかで、ネットワークの知識を習得しました。その後、結婚を機に大阪に出てきてから、WEB制作に携わるようになりました。お客様の要望をうかがって形にしていくなかで、その過程がとても楽しく、デザインの仕事で起業することを決意したのですが、育児や介護とも両立しやすいのが将来的にもよかったと思っています。

その起業のきっかけとなったのが東日本震災です。若い方が多く亡くなったのを知って、「人生は一回きりだから、迷っている暇があれば

行動しよう」と思いました。それから慎重派の夫を説得するのに、大量の資料を用意してプレゼンテーションを行い、了解を得るのに半年かかりましたけど(笑)。

「S-Cubeに入居して」

相談できるマネージャーなど 創業者への充実した支援が魅力

ある起業家向けセミナーに参加して、「インキュベーションセンター」という存在を初めて知りました。

起業するにあたっては、客観的視点で相談に乗ってくれる存在が大切ということを知っていたので、マネージャーさんによるソフト面での支援も含めて、創業に必要なものが揃っているこのような施設はありがたく、利用しない手はないと思いました。いろいろ調べた結果、近くで、創業者支援に熱心なS-Cubeへの入居を決めました。

「事業のこれから」

この夏に起業した夫と 一つの会社にするのが夢

これまで私の事業を支えてくれた夫も、今年8月に起業し、S-Cubeに入居しました。会社勤めの頃に培ったスポーツウェアの設計ノウハウを活かし、製品開発を行なっています。事業領域は全く違うのですが、将来的には夫の事業と一緒に、一つの会社にしたいと考えています。経理などの業務が一本化できる点でも、労力やコストの低減につながるかと思っています。

マネージャーを講師に 起業塾を開いていただきました。

担当の山本マネージャーが以前に、起業するなら知っておくべきことの勉強会を開いていたということを知り、「ぜひもう一度、私たちにも」とお願いしたところ、聞き届けていただいたことがあります。週に1回、お昼休みから集まって開催された勉強会は、契約や経理、知的財産権やマーケティングなどを専門家から教えていただくことができ、少人数だからこそ質問なども活発に飛び交って、とても内容の濃いものでした。S-Cubeに入居していて良かったことの一つです。

ぶっちゃけます! :

起業家 Q & A

Q ずばり「お金のこと」

A 初期投資のあまりかからない事業なので、自己資金だけで起業し、融資を受けることもありませんでした。そもそも借金することに抵抗もなかったのですが、マネージャーから「融資ゼロが必ずしも賢明なこととは限らない。事業を大きくするには、運転資金に余力があったほうがよい」とアドバイスされて、融資を受けたこともあります。

Q だいたい「人脈のこと」

A S-Cubeに入居し、さまざまな起業家仲間との交流から体感したことは「人が、お金も情報も人も連れてきてくれる」ということです。困ったことがあれば、誰かがその解決法をアドバイスしてくれました。人とのつながりは大切です。

Q 気になる「企業としての理念」

A インターネットを活用した媒体の企画制作に携わっていますが、私自身は必ず顔を合わせてやりとりすることを大切にしています。丁寧に聞く、丁寧に説明するには重要なことです。